

立命館大学技術士会 第5回総会

議 案 書

R

平成26年(2014年) 7月19日

(社)中央電気倶楽部215号室

13:00 ~ 16:30

立命館大学技術士会第5回総会議案

<第1号議案>

立命館大学技術士会第4期(2013年4月1日～2014年3月31日)事業報告

<第2号議案>

立命館大学技術士会第4期決算報告および監査報告

<第3号議案>

第5期事業計画(案)および予算(案)

<第4号議案>

第5期役員人事(案):敬称略

<第1号議案>

立命館大学技術士会第4期(2013年4月1日～2014年3月31日)事業報告

(1) 会員拡大と組織強化

本会の基盤強化として、本会員、特別会員、準会員および賛助会員合計150以上を目標としたが、第4期末結果は、本会員143名、特別会員1名、準会員5名および賛助会員4社の合計153であった。

理工学部長と面談し、機械工学科、電気電子工学科卒業生の技術士資格取得者の情報提供を要請。

建設会名簿からの技術士資格者抽出を建設会事務局に要請。

得られた情報を基に当会加入のお願いを発送した。

また、建設会会報に立命館大学技術士会の記事を掲載し、当会加入のお願いをした。

引き続き、会員拡大と組織強化を行っていく。

(2) 技術士試験受験への支援

H25年度技術士第二次試験受験支援は、2013年5月18日、7月13日の2回、受験支援講習を実施した。

口頭試験支援は、11月16日他で実施し、4名が合格した。

H26年度技術士第二次試験受験支援は、2013年3月22日、4月12日の2回、受験ガイダンスとして、申込書、部門と専門事項の整合を核に指導する講習会を実施した。

(3) 立命館大学への支援

大学の都市・環境系教室と連携した講義を実施した。

①都市システム工学科2回生(80名)対象に、技術者のキャリアを主体とした新企画『立命技術士懇談会』を10月17日BKCにて実施。感想レポート提出70件。また、懇談会后、都市システム教授との意見交換を行った。

この企画は今後継続的に発展させていく行事とした。

②環境システム工学科1回生(80名)を対象に、『JABEE制度と技術士制度の説明会』を12月12日BKCに実施。感想レポート提出65件。

課題は、JABEE制度の活用と技術士第二次試験受験率を高めることであり、H26年度の説明会では、これらを含み取り組む予定である。

また、理工学部より特殊講義『技術者のキャリア』への講師派遣の要請があり、当会会員の派遣を実施。

理工学研究科からも平成26年度の大学院生対象講座『地盤工学特論』に講師の要請があり、4名の当会会員を推薦した。

今後も大学側の要請に随時応えていくこととしたい。

当会の都市・環境系教室での講義に関しては、立命館大学建設会の後援、また、『技術士懇談会』では日本技術士会近畿本部の後援を得ている。

(4) 技術講演会および親睦会

会および会員相互の資質向上として講演会等を企画し、第4回総会時に国立循環器センター研究所長寒川博士による講演会を実施した。

交流懇親会は、11月16日に「モリシタ」にて開催。福島県被災校友を再び招き現状情報提供および当会会員よりプレゼンテーション2件をしてもらった。

今後とも、更に充実を図り実施していく予定である。

(5) 会計に基金を設け、事業企画を推進する

①技術士受験支援基金(受験講習イベント、講師謝礼等)、②講演会・交流企画基金(講演会イベント、交流会イベント等)、③大学支援・共同企画基金(JABEE支援、共同講演会企画等)の3種の基金を設け、各事業企画に応え、活用していくこととした。
次年度以降も更に資金の充実を図る。

<第2号議案>

立命館大学技術士会第4期決算報告および監査報告
(2013年 4月 1日~2014年3月31日)

決 算 報 告			
項 目	予 算	決 算	摘 要
(1) 収入			
①会費等収入	300,000	195,400	個人会費 (期末現在123名)
	50,000	40,000	賛助会費 (4社)
		48,000	寄付金(10,000+38,000)
		45,898	総会、幹事会懇親残金等
		329,298	上記小計
②講習会収入	30,000	21,000	講習会参加費(延べ23名)
③その他	34,250	46	ゆうちょ銀行利息、その他
④前期繰越金	435,750	435,750	前期残高合計
-----			-----
合 計	850,000	786,094	差し引き -63,906
(2) 支出			
①通信事務費	50,000	16,240	通信費等
②受験支援等 事務費	30,000	-	HPで代用
③会議費等	150,000	123,300	幹事会、講習会会場費
④振替手数料	10,000	5,600	振込み手数料
⑤受検支援基金	200,000	150,000	
⑥講演交流基金	150,000	150,000	
⑦大学支援基金	150,000	-	
⑧予備費	110,000	146,095	30,000+31,920+71,500+12,675
⑨通帳&振替口座 残高	-	194,859	103,899+90,960=194,859
-----			-----
合 計	850,000	786,094	差し引き -63,906
立命館大学技術士会第4期会計収支決算			
① 収入額		786,094	
② 支出額		591,235	
收支合計= ①-②		194,859	… 次期繰り越し金額
監 査 報 告			
立命館大学技術士会第4期会計内容につき、通帳、金銭出納簿、領収証 および入金書類を監査した結果、適正に処理、記載されていると認める。			
以上			
平成26年 5月31日	立命館大学技術士会		
	会計監事	宮川 繁雄	印
	会計監事	村山 稔	印

<第3号議案>
第5期事業計画(案)および予算(案)

<事業計画(案)>

(1) 会員拡大と組織強化

本会の組織基盤を確立するために、会員の拡大・増強を行い、正会員、特別会員、準会員および賛助会員の計200以上を目標に更に基盤構築を図る。

(2) 技術士試験受験への支援

既に行なった受験ガイダンスに続き、昨年同様5月17日、に第3回講習会、7月12日第4回講習会を実施している。
またH27年度受験については、これまで同様に3月と4月に受験ガイダンスを予定している。
筆記試験合格者の口頭試問支援として、11月に模擬面接を予定している。
詳細は、HPにおいて掲載・募集する。

(3) 立命館大学への支援

『第2回立命技術士懇談会』を環境システム工学科3回生対象に7月17日に開催。第3回は都市システム工学科2回生を対象に後期授業での開催を予定している。
また、『JABEE制度と技術士制度の説明会』は、環境システム工学科1回生を対象に後期授業で開催する。
これらを核に、大学支援を都市環境系教室と連携して図っていく。
さらに、学生支援の一環として、今後の技術者のあり方を核に参考本の作成に取り組んでいく。
この件に関し、都市環境学系会議にて支援の承認を得ている。

(4) 技術講演会および親睦会

総会時の講演を実施し、大学との連携講演を企画する。
また交流懇親会は、継続して実施し、幅広い交流へと企画していく。

<予 算(案)>

① 収 入		
(1) 会費等	本・特別・準会員	300,000
	賛助会員	50,000
(2) 講習会等		30,000
(3) その他		25,105
(4) 前期繰越金		194,895
	合 計	600,000
② 支 出		
(1) 通信事務費		30,000
(2) 受験支援事務費(支援データ送付等)		30,000
(3) 講習会、幹事会等会場費		150,000
(4) 振替手数料		10,000
(5) 技術士受験支援基金		200,000
(6) 講演会・交流会企画基金		30,000
(7) 大学支援・共同企画基金		30,000
(8) 予備費		120,000
	合 計	600,000

* 講習会予算¥30,000は、講師謝礼です。

* その他収入は、懇親会残金等の寄付です。

* 支出の予備費には、技術士懇談会等でお世話になる先生方等の懇親会支出の補填等です。

<第4号議案>

第5期役員人事(案):敬称略

役職名	氏名	卒業年	部門
会長 (1名)	大森 秀高	S 50	建設
副会長 (6名程度)	南側 晃一	S 53	建設
	土屋 光弘	S 58	建設
	橋口 正悟	H 15院	建設
幹事 (20名以内)	大森 秀高 留任	S 50	建設
	糸田川 廣志 留任	S 47	上下水道
	南側 晃一 留任	S 53	建設
	西村 敏 留任	S 54	上下水道
	楠本 博 留任	S 54	建設
	日室 伸一 留任	S 54	上下水道
	吉田 順一郎 新任	S 55	建設
	土屋 光弘 留任	S 58	建設
	青山 裕之 留任	H 05	建設
	太田 和夫 留任	H 05	建設
	今井 豊 留任	H 08	上下水道
	長谷川 真也 留任	H 13	建設
	橋口 正悟 留任	H 15院	建設
	服部 亘啓 新任	H 17院	建設
幹事長	糸田川 廣志 留任	S 47	上下水道
会計監事 (2名)	宮川 繁雄 留任	S 46	上下水道
	村山 稔 留任	S 49	建設

幹事及び監事以外の役員

役職名	氏名(敬称略)	摘要
顧問	児島 孝之 山田 淳三 田中 伊三雄	
相談役	奥村 一之 大岸 淳順 渡邊 郁夫	